2010.1.24

USBメモリーでLINUXの起動及びポーダブルアプリの利用

京都マイコン研究会
OS部会

1） 使いやすい人気の無料OSをUSBメモリーに入れて持ち歩いたり、Windowsが起動しなくなった場合にファイル回復したりする緊急用USBを作成しておく。
Ubuntu（ウブントゥ）はWindowsのハードディスクも認識してOS間のファイル操作が出来る。

公式サイトよりISOファィルをダウンロードする。
OS名： Ubuntu（ウブントゥ）9.04 http://www.ubuntulinux.jp/

ライティングソフト（ImgBum等）でCD－Rに書き込む。

BIOSで起動順位をCD／DVDドライブに変更してCD－Rより起動する。

Ubuntu起動画面でコンピュータに変更を加えないでUbuntuを使ってみるを指定して
Enterキーを押す。

USBメモリーを投入。

Ubuntu起動画面でシステム→システム管理→USBスタートアップ・ディスクの作成を実行。
新機能で手軽に作成できる。（図1参照）
データ保存用の領域をUSBデバイスに指定する。
インストールが完了しましたで終了する。

USBメモリーから起動するようにバイオスでRemovable Devicesを優先起動に設定して
Boot DevicesをUSBメモリー優先起動に設定する。
尚、BIOSがUSBブートに対応していない旧PCは起動できない。

2） USBメモリーでWINDOSのアプリケーションを追加して便利に使う。
StartPortableAppsはエクスプローラ・バックアップ・各種アプリの追加が使用出来る
メニューが起動する。
メニューのオプションから新しいアプリケーションのインストールで追加したり
各追加アプリのダウンロードサイトが新しいアプリケーションの取得で一覧表示できる。（図2参照）

追加例 FTP転送
Webソフト
メールソフト
ポータブル化ソフト
オープンオフィス
PDFビュアー
画像編集ソフト
動画再生ソフト
ファイル操作ソフト
暗号化ソフト

図1　USBスタートアップ・ディスクの作成を指定する。
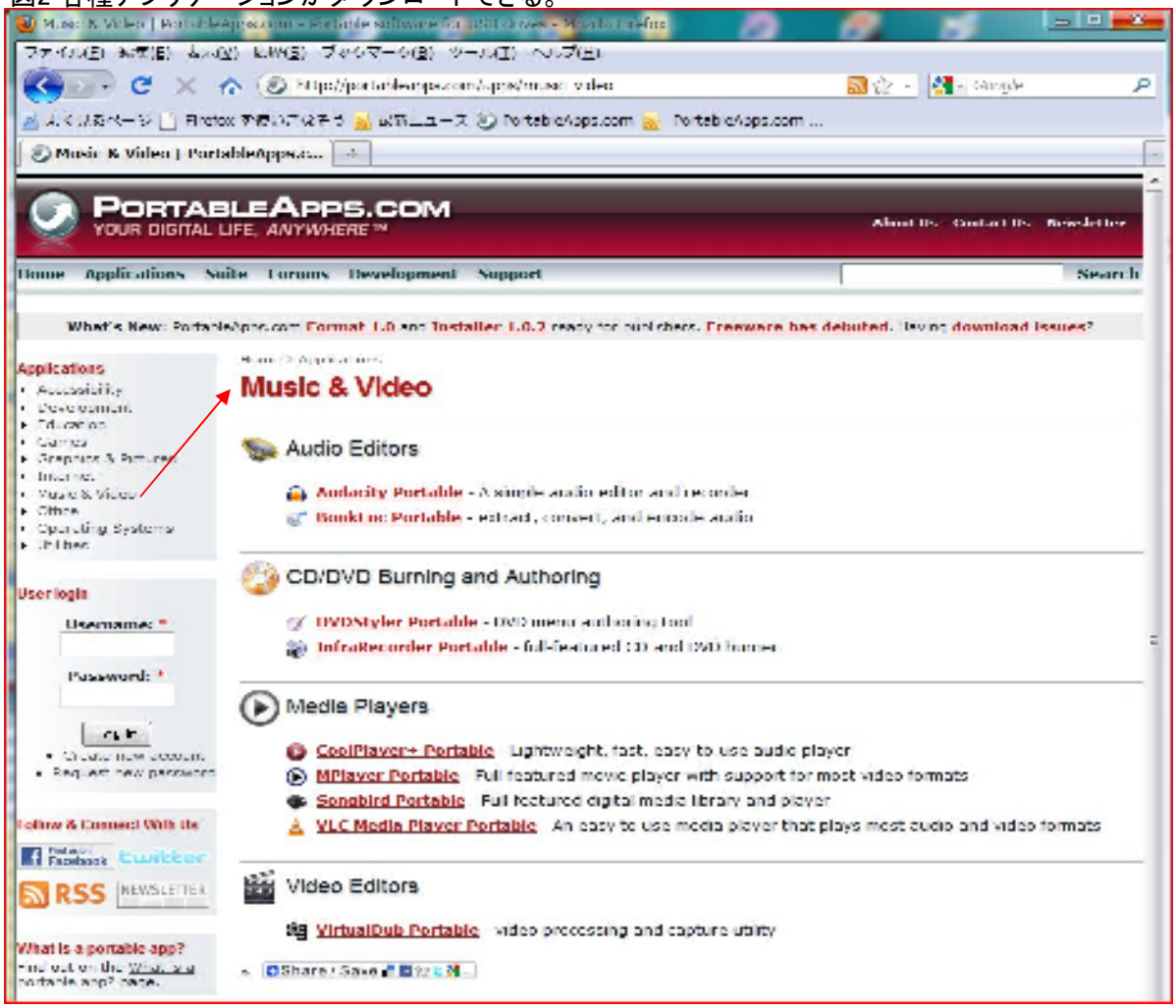
図2 各種アプリケーションがダウンロードできる。